



森下さちこニュース

議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/> Tel. 453-1113

2006年7月号
和歌山市鳴神 1145-6
TEL:474-6556

真夏の強い陽射しが照りつけた7月初旬。早くも梅雨明けか?と思われましたが、再び雨、雨、の毎日。このニュースが届く頃は夏休み真っ最中でまさに梅雨も明けていることでしょう。

暑さによる疲れか、娘が高熱を出して三日も学校を休みました。アデノウイルスによる扁桃炎という診断でした。小さいお子さんはヘルパンギーナという夏風邪が流行する時期ですし、大人も暑さで抵抗力が失われ体調を崩しやすいときです。水分補給と栄養をしっかりとってこの夏を乗り切りましょう。



**弱いものいじめの
小泉内閣**
小泉内閣のいう「構造改革」なるものが進めているのは老年者控除の廃止による大増税、そして障害者自立支援法による自己負担の増など、弱いものにしわ寄せをするやり方です。

国の政治の根本を変えることが大切ですが、国民の窓口となる県政がどんな施策を作るのかということもとても大切です。

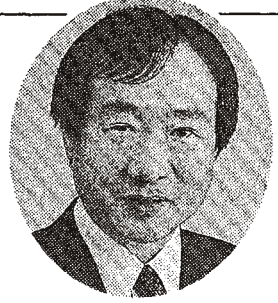
県政にもとめられるものは...



市長選挙は23日告示。県議補欠選挙は21日告示。投票日はいずれも30日です。県議補欠選挙は市長選挙に2人の県議が出馬することによって2議席が空白となることから行われる選挙です。

《市長選挙と県議補欠選挙があります》
**しっかりみきわめ投票し、
くらしまもる力を大きく!**

**くらし・福祉の願い
届ける人を県政へ!**
県議員は県政に無駄使いや不正がないかチェックすること、そして県民の声を届けることがその使命です。
みなさんの代表として誰がふさわしいのか、しっかりと見きわめ投票しましょう。



こんにちは!
県会議員
藤井健太郎です

県議会の議員定数の「削減」を求める直接請求がありました。今年の2月議会で来年4月の県議会議員選挙の総定数を46人とし、選挙区ごと(郡・市域で14選挙区)の定数について賛成多数で可決されました。

日本共産党議員団は、地方自治法が定める定数46人を維持し、各選挙区での定数配分は1票の格差を2倍未満とするように主張しましたが、議会内に設置した定数問題検討委員会で各会派の意見がまとまらないなかで、私たち議員団は総定数46人を維持すること、選挙区での定数配分は多数の一致点となったことを評価し、賛成しました。

地方議会の議員は、その地域の住民を代表し、行政の監視と住民要求を代弁する役割を担っています。くらしの充実願う住民の広範な声を行政に届けるためにも「行政改革」と称して議員数を減らしていくことには賛同できません。

国民の立場で真実伝える日本で唯一の全国新聞

しん 赤旗

日刊・月2,900円/日曜版・月800円



「障害者自立支援法」について

障害者に負担強い

自立支援法

懸念したとおりの状況になって
います。

4月から施行された「障害者自立支援法」はサービスを受ける

減免制度もため質問

私は6月議会の一般質問でこの

ためには1割の利用料を負担し
なければならぬというもので

実態を示し、市として独自の減免
制度などの施策を作るよう求めま

す。この法の施行により自己負
担を気にしてサービスを減らす
人が出てきているということ

市は自立支援法の趣旨は相互に
負担を求めめることで障害者福祉サ
ービスを安定したものにするこ

とだとしながらも、必要なサービ
スを抑制せざるを得ない今の実態
は問題があるとして今後減免など
の方策については他都市を見なが
ら研究したいと答弁しました。

10月からはますます、問題点
が浮き彫りになると思われます。
引き続き質問していきたいと思っ
ています。



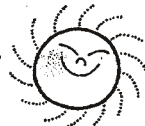
2006

原水爆禁止世界大会

今年も「原水禁」の季節がやってきました。
8月といえば私はまず、広島・長崎の原爆
投下を思います。そして8月15日の敗戦
の日。

私は戦争を知らない世代ですが、いまだ
に原爆症認定の是非をめぐる裁判がたた
かわれるなど決して遠い昔のことでは
ないと思われてなりません。だからこそ、8月
という月を通じて痛苦の歴史を振り返らね
ばと思うのです。少なくともそういう思い
を持っていれば、憲法改正などに組するこ
とは到底できないと思うのですが、みなさ
んはいかがですか。

「過ちを繰り返さない」という誓いの場
でもある原水爆禁止世界大会は8月2日～9
日まで広島と長崎で開かれます。そのうち
の4日～6日の広島会場へ市議員団から
後議員を代表派遣します。代表派遣カンパ
を募っています。ご協力いただける方は
ぜひ市議員団までご連絡ください。



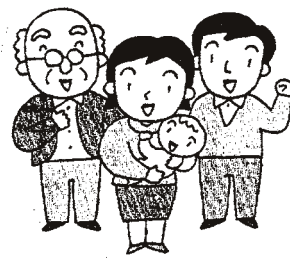
◆貫志川線グランドオープン

8月6日(日) 午前10:30～伊太祁曽駅にて

◆日赤看護師さんまつり

8月25日(金) 午後6時～長町公園にて

《生活相談》お盆17日はお休みさせてい
ただきます。ご了承ください。



おっきく なあれ

ちん記
さん日
さか長
森元成

子どもたちが、待ちに待った
夏休みです。地域のお祭り、家
族旅行、プールなど夏は行事や
楽しみが盛りだくさん。でも宿
題も同じくらい盛りだくさん。
欧米の子どもたちはバカンスが
長い上に宿題はないとよく聞か
れます。普段の生活では経験でき
ないことを長いバカンスを利用
し取り組むようです。子どもた
ちにとって体を使って遊んだり
仲間や家族以外の大人に様々な
ことを教わるのは学校の勉強と
同様の、学び・があるからでし
ょう。普段の学校での学習も15
人～25人までの学級編成で、す
べての子の理解度に合わせて教
えることができるといえます。
何ともうらやましい話です。せ
いかくの夏休みに山ほどの宿題
と格闘している日本の子どもた
ち。本当の意味での、ゆとり教
育。で宿題が必要ない夏休みを
子どもたちに与えてやりたいと
思う今日この頃です。